令和5年度　2回目　嗜好調査結果報告

病院の食事について入院患者様にアンケートを行いましたので、ご報告します。
アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

対象者　53名　（常食の食事を食べられている男性と女性に実施）

日時　令和5年　10月20日（金）　昼食時

回収率　77.4%　（41名回答　）
内訳　男性13名　女性26名　未記入5名

～栄養科より～

食事全体の満足度は『普通』まで含めますと約9割の方から評価をいただいております。
主食の量につきましては『多い』という意見が23%、
おかずについても、『少ない』と感じられる方が24%おられました。
栄養バランスを考えますと全体から
タンパク質は12～15%、脂質は20～25%、残りは炭水化物（糖質）で摂ることが
良いとされています。
自由意見では『主食やおかずの量を選べれたら良いと思います。』といった
ご意見もありましたが、バランスが崩れる恐れがあります。
治療の一環として栄養バランスの良い食事に慣れてみてはいかがでしょうか。

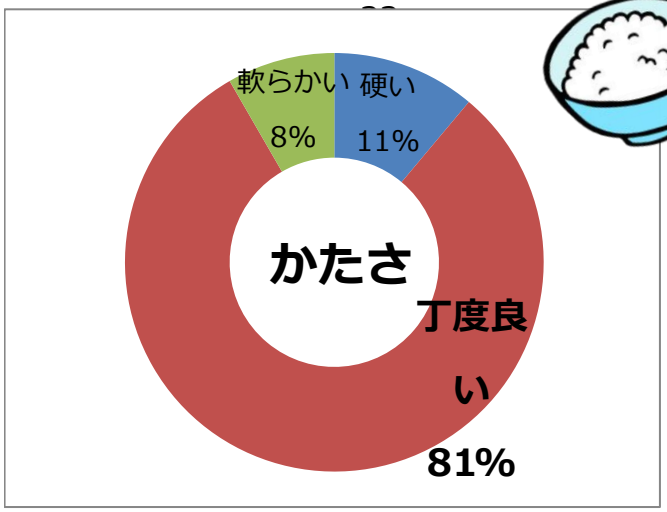
また、おかずの味付けが『薄い』という意見が27%おられました。
味付けについて、日本人にとっては身近で欠かせない「塩分」ですが、
「控えめに」、「摂り過ぎはよくない」などと言われ、
以前よりも摂取量は少なくなってきていますが、
現状は・・・
日本の成人の食塩摂取量の平均値は過去10年間で減少傾向にあるものの
男性10.8ｇ　女性9.1ｇと摂取しております。
厚生労働省の推奨している食塩摂取量の目標量は男性7.5ｇ未満　女性6.5ｇ未満のため
摂取基準に比べまだ3g以上オーバーしていますね。
塩分の多い食事を続けると、血中のナトリウム濃度が高くなり、
ナトリウムは水を引き込む力があるため、
血流量全体が増え、血管を押す力が強くなり、
血圧が上がってしまいます。
血圧が上がると心臓や脳などの太い血管の負担にもなるため、
動脈硬化や心不全、心筋梗塞等のリスクにつながる
と言われております。
味の薄い食事へ変更していきましょう。

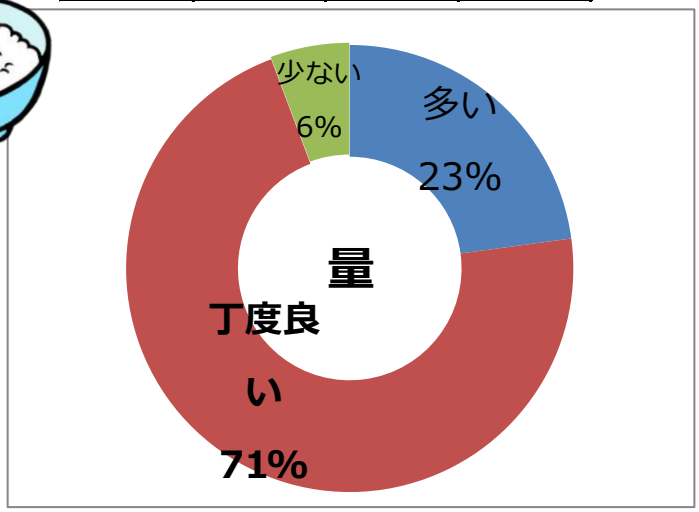
調査結果　　★未回答は外しております

①主食（ご飯）について

	硬い	丁度良い	軟らかい
かたさ	4	29	3

	多い	丁度良い	少ない
量	8	25	2

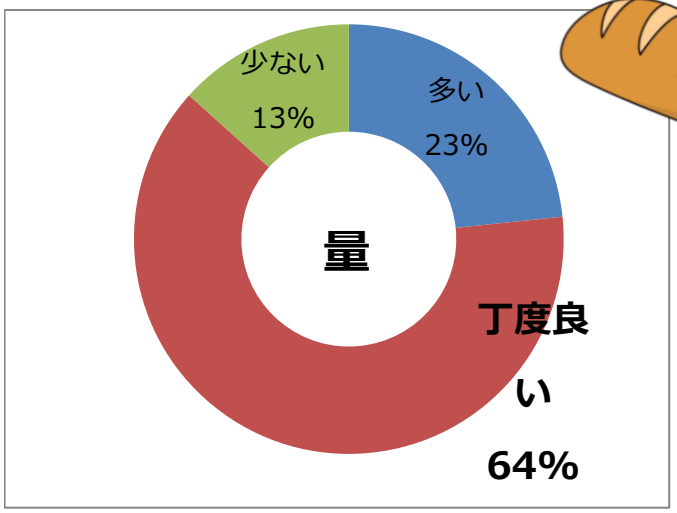


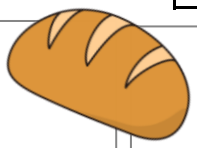


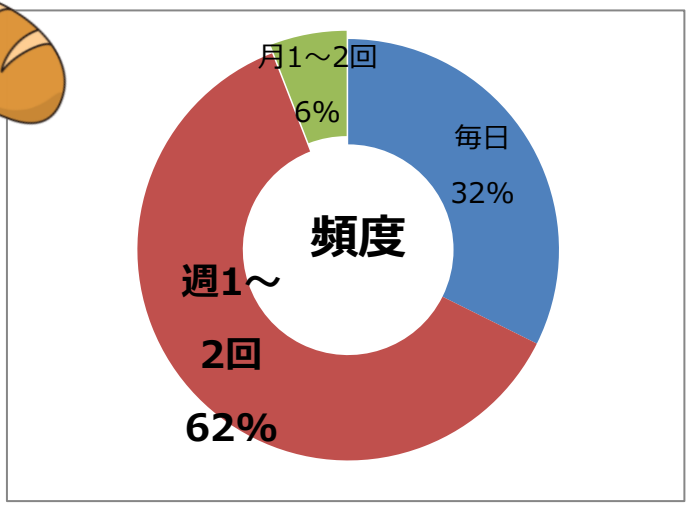
②主食（パン）について

	多い	丁度良い	少ない
量	7	19	4

	毎日	週1～2回	月1～2回
頻度	11	21	2



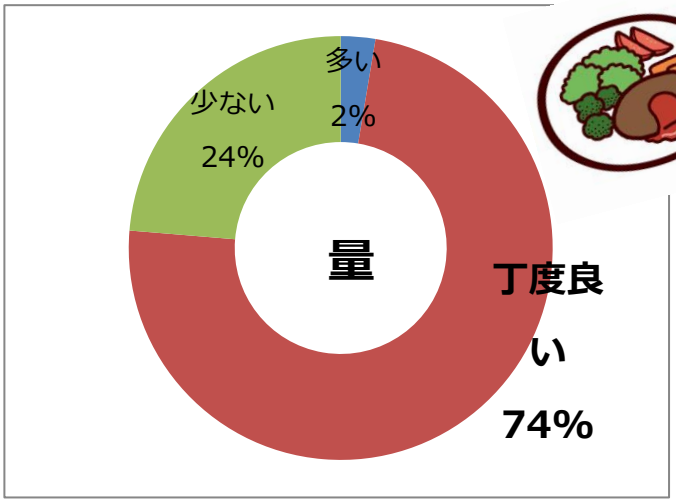


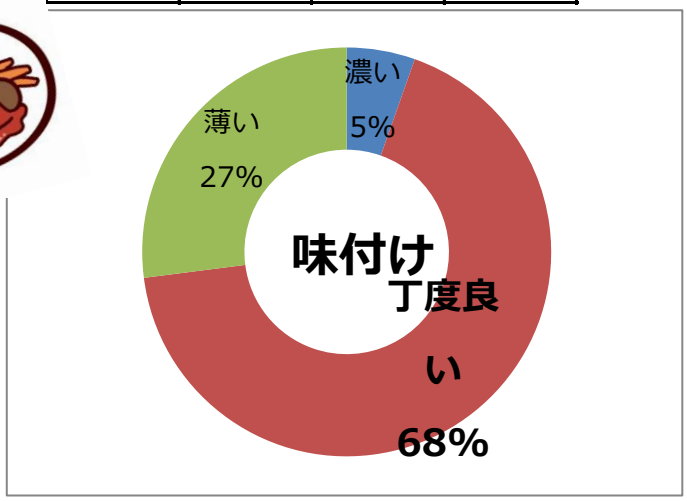


③おかずについて

	多い	丁度良い	少ない
量	1	28	9

	濃い	丁度良い	薄い
味付け	2	25	10

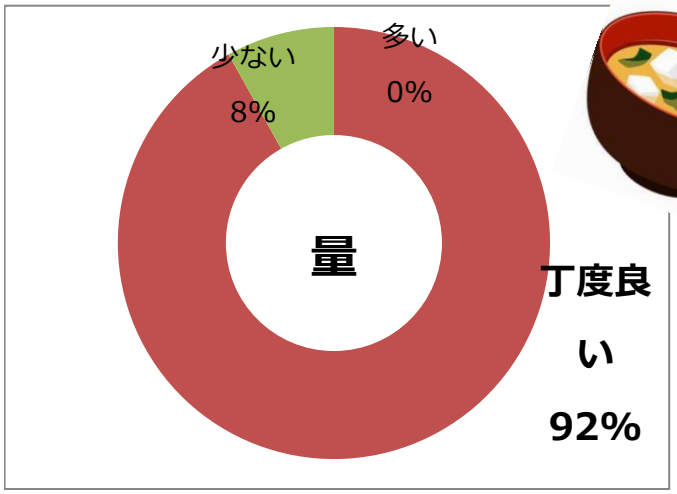


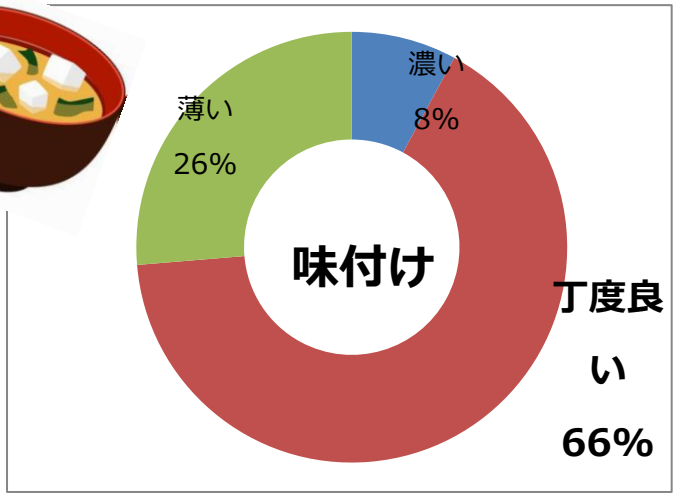


④汁物について

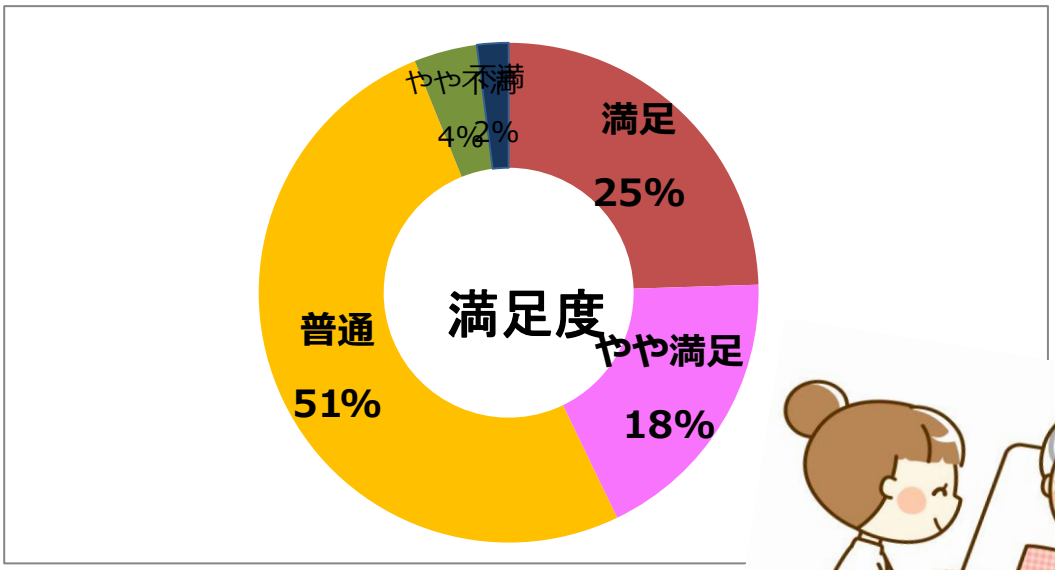
量	多い	丁度良い	少ない
	0	34	3

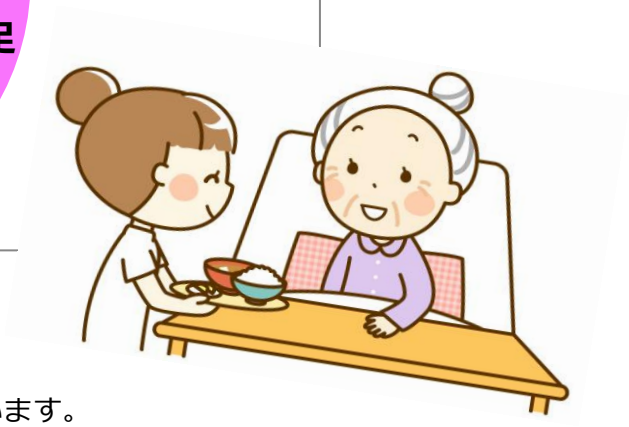
味付け	濃い	丁度良い	薄い
	3	25	10





満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
	12	9	25	2	1





自由意見

・主食やおかずの量を選べれたら良いと思います。
・毎食汁ものが出るとご飯を美味しくいただけると思います。
・ご飯が軟らかい時と丁度良い時がある。軟らかいご飯は食べられない。
・毎朝にパンにしているがおかずが変更も洋のものに変更してほしい。
・味噌汁の具の野菜がとけて何かわかりにくい程に過ぎちます。
・好きな食材だと偏りがありますので、今のままでよいです。
・ご飯は美味しいのにおかずが少ないのが残念。

この他にも多数ご意見、感謝の言葉をいただきました

令和　5年　12月　　ヒロシマ平松病院